



郷土を愛する心

明けましておめでとうございます。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も地域の皆様のご協力とご支援をいただきながら、本校の教育活動の一層の充実に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



私が幼いころの大みそか。秋田県にある親戚を訪ねた時、いきなりやってきた大きなオバケが「悪い子いねかー」「怠け者いねかー」「ウオー」と叫ぶ怖さに、母親に抱きついて大泣きしたことを憶えています。本当にからだを震わせながら「ボク悪い子じゃない」「悪い事しません」と幼いながらに考えていたと思います。

昨年の11月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、「男鹿のナマハゲ」（秋田県）など8県10行事からなる「来訪神 仮面・仮装の神々」が無形文化遺産に登録することに決めました。

「来訪神」は正月などに仮面で異形の神に仮装した者らが集落に現れ、怠け者を戒めたり、人々に幸福をもたらしたりする年中行事で、日本古来の神観念や民間信仰の形をよく残していると言われていています。ユネスコの政府間委員会は、来訪神行事を「子供たちのしつけや、家族の絆の強化に重要な役割を担っている」と評価しました。（読売新聞より抜粋）

無形文化遺産は、文化の多様性や人類の創造性を証明する芸能や儀式、工芸技術などを保護する制度で、日本からは能楽や歌舞伎、和食、和紙などが登録されています。今回の登録でさらに行事の価値が国際的に認められたこととなります。しかし、過疎化や少子高齢化を背景に、「来訪神」を迎え入れる家庭や、神々の役割を担ってきた青年らが減るなどして、行事を続けるのが難しくなっている現状があるようです。

少しむかしは、「地震・かみなり・火事・おやじ」という怖いものを並べた言葉がありました。でも最近はお父さんもとても優しくなりました。子供を褒めて育てることはとてもよいことですが、今の子どもたちにとって怖いものはあるのでしょうか？

時にはものすごく怖いことがあることによって自らを戒める「しつけ」も必要かと考える時があります。いかがでしょうか？

さて、田柄町会でも「初詣」「夏祭り」「地区祭」などの祭りや行事が催されています。昨今は、都市化が進み、郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向がみられます。地域社会は家庭や学校とともに大切な生活の場です。郷土によって育まれた伝統と文化に触れ、体験することを通して、地域社会の一員として自覚が持てるようになり、郷土を大切にする心や態度もはぐくまれます。

ご家庭では、地域の行事に進んで参加できるようにお話してください。

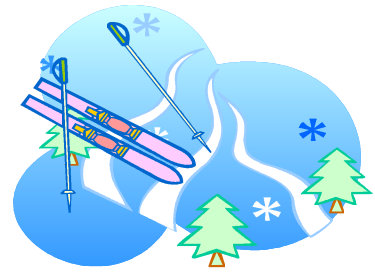
田柄中では、「総合的な学習の時間」「特別活動」や各教科の横断的な視点に立って、職場体験等の様々な体験活動を通して、地域の方々にお世話になっております。今年も、地域の皆様にご協力をいただきながら郷土愛を育てていきたいと思ひます。よろしく願いいたします。

3年生は、いよいよ進路決定の時期となり緊張感がみなぎっています。1年生・2年生も、一歩ずつ成長して進級していきます。これからまだまだ寒い日が続きますが、この寒い冬に怠けていると成長できません。地道な努力を続けることが大切です。そして、我慢をすることも必要です。希望や努力を継続する力となり、種が成長すれば、いずれ開花し実をむすびます。3学期は、学校生活一年間のまとめでもあります。自分の目標に向かって、努力を続けてほしいと思ひます。



2年生がスキー移動教室に出発します

1月29日(火)から2月1日(金)3泊4日
 場所：練馬区少年自然の家「ベルデ武石(本館)」
 長野県上田市武石
 実習：番所ヶ原スキー場

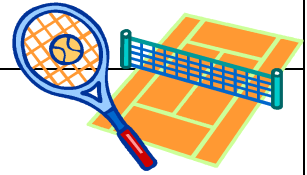


大自然の厳しさと美しさに触れ、スキーに親しみ、一段とたくましく成長してほしいと思います。

生徒・部活動の記録

(敬称略)

練馬区 児童生徒表彰	平成30年度に練馬区小・中学校で文化・スポーツ部門において 優秀な成績を収めた児童・生徒が表彰されました。 3年生 濱中 翔 野球で優秀な成績 3年生 十鳥 真乙 野球で優秀な成績 3年生 竹葉 智子 水泳で優秀な成績
硬式テニス部 男子	東京都中学校テニス第3ブロック新進大会 第2位 長尾 朋哉・恩田 祐作 ペア(2年生)
書道	第13回全日本小学校・中学校書道紙上展 入賞 ベスト100 大西 菜央(3年生)



基礎体力の向上を進めています

平成31年(2019)は、アジアで初のラグビーワールドカップ日本大会が開催されます。世界の強豪国相手に日本チームの活躍が大いに期待されます。

いよいよ来年は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの年となります。中学生の時から期待され、日本代表としてオリンピックの檜舞台で活躍する選手が多く見られると予想されます。私たちが未来のアスリートたる生徒たちの育成に関われることは、とても魅力的なことです。

東京都教育委員会は、平成28年度から都内のすべての学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施しています。目標は、①2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市にふさわしい、運動・スポーツに親しむ元気な児童・生徒を育成、②総合的に子供の基礎体力を向上、③平成32年度までに、中学生・高校生の体力合計点の東京都平均値を、全国平均値へと向上させることを目指す。以上3点です。

そして、平成28年度から平成32年度までの5年間の総合的な子供の基礎体力向上方策(第3次推進計画)を「アクティブプラン to2020」として、平成28年1月に策定しました。これに基づき、都内の公立学校で子供たちの体力向上を進めています。

田柄中学校も平成29年度・30年度「スーパーアクティブスクール」に指定され、体力向上のモデル事業を展開しています。また、投力・握力を中心に「体力を高める運動指導のガイドライン」を作成し、保健体育の授業や運動部活動で活用した内容の研究報告会を開催しました。先日は、プロのSAQインストラクター(株式会社クレーマージャパン)においでいただき、本格的に体力づくりについて学ぶことができました。



野球部のメンバーが、SAQインストラクターから体力づくりやトレーニング方法について学びました。これから、生徒たちはこの知識を生かして、自ら進んで基礎体力づくりに励んでいきます。